

伊那地域定住自立圏

# 中心市宣言書

平成27年6月25日

長野県伊那市

## 中心市宣言

本市は、長野県の南東部に位置し、東は南アルプスを境に山梨県と静岡県に接し、西は中央アルプスを境に木曾地域に接しています。中央部には、南北に伊那盆地が開け、市内を南下する天竜川と三峰川により、河岸段丘と扇状地が形成され、田園と畑作地帯が開けた美しい景観をつくり出しています。

交通網では、道路は、中央自動車道のほか、国道 361 号を始め、国道 152 号、153 号、権兵衛トンネルにより、東西、南北が結ばれています。また、鉄道は、市の中央を飯田線が走り、中央本線、東海道本線に連絡し、12 年後のリニア中央新幹線の開業によって、東京圏、中京圏との結びつきが更に強まることが期待されています。

通勤・通学、買い物、通院などの日常的な生活行動圏は、行政区域を越えた圏域が形成されており、病院運営やごみ処理、救急・消防業務などの住民生活に係わる行政サービスは、広域連合や一部事務組合により行われています。

一方、今日の日本は、東京圏における低出生率や人口の一極集中、地方圏における都市圏への人口流出等により、少子高齢化の急速な進行とともに、本格的な人口減少社会へ突入しています。

このため、地方圏では、安定した雇用の創出や、若い世代が安心して結婚・出産・子育てができる環境の整備を図り、地方圏への新しい人の流れをつくるとともに、時代に合った地域社会の形成を進めていく必要があります。

こうしたことから、伊那市は、経済や生活の結びつきが強い近隣自治体との連携を深めながら、定住自立圏構想に基づく「伊那地域定住自立圏」の形成を進め、中心市として多様な都市機能の充実に努めるとともに、将来にわたり地域住民が安心して暮らせる魅力的な地域づくりに取り組んでいくことをここに宣言します。

平成 27 年 6 月 25 日

伊那市長 白 鳥 孝

# 1 伊那市の主な都市機能の集積及び利用状況

## (1) 医療

### ①伊那中央病院（平成26年度）

単位：人

区分	伊那市	その他	合計
外来延べ患者数	117,328	101,997	219,325
在院患者数	6,961	6,508	13,469
合計	124,289	108,505	232,794

※外来延べ患者数には、他科受診を含む。

資料提供：伊那中央行政組合

## (2) 教育・文化

### ①社会教育（平成24年度～平成26年度）

単位：人

施設	平成24年度	平成25年度	平成26年度
生涯学習センター（ホール）	44,984	44,831	42,537

生涯学習センター調べ

### ②図書館（平成24年度～平成26年度）

単位：人、冊

施設	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度
伊那図書館	利用者数（延べ）	76,521	75,318	71,707
	貸出点数（個人）	364,509	366,052	353,888
高遠町図書館	利用者数（延べ）	11,013	10,929	10,320
	貸出点数（個人）	52,650	48,660	48,838

文化振興課調べ

### ③文化（平成24年度～平成26年度）

単位：人

施設	平成24年度	平成25年度	平成26年度
旧井澤家住宅	1,468	1,656	1,444
信州高遠美術館	26,536	18,342	13,549
高遠町歴史博物館	22,530	20,785	16,782
伝統文化等伝習施設（中尾座）	2,693	2,517	1,543
創造館	26,655	29,085	38,430

生涯学習課、文化振興課、高遠長谷教育振興課調べ

### ④体育（平成24年度～平成26年度）

単位：人

施設	平成24年度	平成25年度	平成26年度
市営野球場	13,598	11,441	10,061
県営野球場	9,644	11,326	5,249
市民プール	15,368	16,498	9,842
庭球コート	18,812	23,682	22,125
武道館	27,960	22,238	23,765
陸上競技場	46,515	44,418	42,645

(続き)

施設	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
市民体育館メインアリーナ	55,779	56,981	35,804
市民体育館サブアリーナ	30,088	29,805	27,346
サンビレッジ庭球場	6,652	7,241	7,344
サンビレッジ体育館	18,258	17,130	17,989
高遠スポーツ公園総合運動場	5,523	6,491	7,499
高遠スポーツ公園プール	9,278	10,602	6,458
高遠スポーツ公園文化体育館	23,750	23,036	26,836
長谷総合グラウンド	655	364	641
伊那里体育館	1,168	1,257	835

スポーツ振興課調べ

## (3) 観光

## ①保養センター (平成26年度)

単位：人

施設	日帰り	宿泊
羽広荘	11,863	10,917
高遠さくらホテル	23,801	10,114
仙流荘	23,713	5,269
入野谷	18,174	3,721

観光課調べ

## ②温泉 (平成24年度～平成26年度)

単位：人

施設	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
みはらしの湯	196,567	191,500	187,981
さくらの湯	90,218	90,060	90,625

観光課調べ

## (4) 交通

## ①JR飯田線 (平成25年度)

単位：人

駅名称	乗車人員 (年間)	乗車人員 (1日当たり)
伊那北駅	395,748	1,084
伊那市駅	432,128	1,184
下島駅	25,977	71
沢渡駅	193,752	531
赤木駅	20,690	57
合計	1,068,295	2,927

出典：伊那市統計書

## ②地区循環バス（平成26年度）

単位：人

路線名	乗車人員 (年間)	乗車人員 (1便当たり)
市内西循環線	14,133	7.33
伊那西部地区乗合デマンドタクシー	587	1.74
新山地区循環バス	871	4.49
富県・東春近地区循環バス	2,175	5.07
西春近地区乗合デマンドタクシー	492	2.05
西箕輪地区乗合デマンドタクシー	279	2.74
市街地北部デマンドタクシー	53	1.04
若宮・美原・手良・福島循環バス	17,834	6.81
三義・長谷循環バス	1,433	2.15
藤沢線	7,306	3.77
高遠循環タクシー（小原・下山田・上山田コース）	847	2.21
高遠循環タクシー（東高遠・勝間コース）	0	0
長谷循環バス	14,792	3.00
合計	60,802	4.40

※藤沢線は、伊那市地域公共交通協議会の運行便の乗車人員に限る。

企画課調べ

## ③市街地循環バス（平成24年度～平成26年度）

単位：人

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度
運行数	31	31	31
総数	78,648	79,079	76,094

企画課調べ

## ④南アルプス林道バス（平成24年度～平成26年度）

単位：人

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度
南アルプス林道バス	41,841	50,561	50,888

南アルプス林道管理室調べ

## ⑤伊那インターチェンジ（平成24年度～平成26年度）

単位：台

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度
入口	1,621,860	1,663,853	1,576,669
出口	1,678,868	1,721,264	1,619,305
合計	3,300,728	3,385,117	3,195,974

資料提供：中日本高速道路株式会社

## 2 近隣市町村との連携を想定する取組

### (1) 生活機能の強化に係わる政策分野

#### ①医療

地域医療の充実・強化につながる取組を推進します。

#### ②福祉

安心して子どもを産み、健やかに育てることのできる環境整備を推進します。

#### ③教育

住民が生涯を通じて学べる機会の充実を図ります。

#### ④産業振興

産業・経済の活性化を図るとともに、雇用の創出に向けた取組を推進します。

#### ⑤地域内外の住民の交流・移住・定住の促進

都市圏からの移住を促進し、定住・定着につなげていくため、住まいの確保に向けた取組を推進します。

### (2) 結びつきやネットワークの強化に係わる政策分野

#### ①地域公共交通

日常生活のエリア拡大や利便性の向上を図るため、地域公共交通網の連携・強化を推進します。

#### ②ICTの活用

地域内外の交流促進に向け、ICTの活用を推進します。

#### ③交通インフラの整備

地域内外の交流促進、中央自動車道利用者の利便性向上、災害支援に向けた連携・強化等に資するため、スマートインターチェンジの設置及び幹線道路網の整備推進を図ります。

#### ④地産地消

食の安全を確保した消費の定着や、地域経済の循環を目指して、生産者と消費者が直結した販売システムの研究・構築を推進します。

### (3) 圏域のマネジメント強化に係わる政策分野

#### ①人材育成

圏域内市町村職員の合同研修を通じて、職員の交流及び資質の向上を図ります。

### 3 伊那市への通勤通学割合が0.1以上である市町村

駒ヶ根市、箕輪町、南箕輪村、宮田村（4市町村）

市町村名	人口	各市町村に常住する 就業者・通学者数	伊那市へ通勤・通 学する従業者・通 学者数	通勤通学割合
駒ヶ根市	33,693人	18,307人	2,131人	0.116
箕輪町	26,214人	13,979人	2,239人	0.160
南箕輪村	14,543人	8,082人	2,451人	0.303
宮田村	8,974人	4,847人	884人	0.182

参考：平成22年国勢調査

※通勤通学割合：伊那市へ通勤・通学する従業者・通学者数を各市町村に常住する就業者・通学者数（従業地・通学地「不詳」を除く。）で除して得た数値